

どんな文章も読める自信ができました。生徒を学習に主体的に参加させる方法の糸口になった気がします。

「図解的な読み」が「論理的で、客観的な読み」につながる事が分かった。

図解を習得すれば、将来職に就いた時に役立つと思った。

図解をしようと文章を読むと、そのまま文章を読むときよりも、内容が頭に入ってくるように感じました。教師になったら子どもにも図解して自分を表現する方法を伝えていこうと思いました。

「あらゆるものを図的に見る」分からない文章をどうしたら分かりやすくなるのか、この答えがこんなに簡単だったなんて。と驚きでした。私もこの力をつけて、ぜひ生活にいかしたい。

講義を受けて、物事の捉え方が変わり、視野が広がりました。講義はとても楽しかったです。

この講義で、文章を読んで何が大切なことなのかが分かるようになった。図解をしてから文章を書くことは、新鮮味があった。

より物事を深く考えられるようになった。何でもかんでも文章で表現するのではなく「図にしてみる」ことで楽しく学ぶことができると分かった。これからは色々なところで図解する活動をしていきたい。

“図解”は、「キーワード」と「○」と「→」だけで成り立っていることに驚きました。板書においても図解を取り入れていきたいです。

図解にするとこんなに分かりやすくなるんだと感動した。高校の世界史も図解すれば良かった。

他人に伝えるための図解は難しいが、理解が深まったと思います。力がついたと思います。

図解による文章の構成の方法が分かりました。レポート作りや日々の授業に役立たいです。教師が子どもに教えるために図解を使うことは良いことだと思いました。

図解と文との理解度の差を改めて知れました。図から文へ、すらすらと論文の書き出しも作れて良かったです。

文章を作るとき、理解するときに良い方法だと思った。誰でも出来る方法だから、さらに素晴らしい。

丸や四角で囲むだけの作業だと思っていましたが、レイアウトや大きさなど様々な工夫ができ、人によって様々で、ビックリしました。

図で表したら、難しい文章もすぐ分かりやすくなってびっくりしました。

人によって違って面白かった。

図解を取り入れて、どんどん挑戦してみようと思いました。

図解はとてもシンプルで分かりやすく一日でとても身につけることができました。将来教員になったら、活かしていきたい。

大学受験のときに、日本史の図解の本に出会っていればと思いました。

難しい文章を図解してみると、頭にすぐ入り、説明文もすぐ思いつくし、不思議でした。

発表するとき、レポートを書く時など、頭の中で図を描いてから取り組むとスムーズにできそうです。

何回か図解するうちにコツが分かりました。工夫の仕方はたくさんあり、奥深さに驚きました。

図にして考えを表現するというテクニックは普段から良く使っていました。インプットアウトプットのスピード正確性を上げることができます。また、平行して文章力(構成する力)も向上するのではないかと感じました。

図で書くといつもより内容が頭に入ってきて感動した。すべての教科で図を使えると聞いて、なるほどと思った。

思考を「目に見える形」にするという方法は新鮮でした。学校や生活のあらゆる問題、課題を解決してゆく力にしたいです。

今回図解のノウハウを学び実際に頭と手を動かして体験してみると主要な事柄(自分の伝えたいこと)が明確になり、文章が書きやすくなったと思った。

読書感想文は、図解の練習に使いそう。